

事業名 世代間交流事業「みんなの夏祭り in とやの」

趣旨 子どもたちが夏祭りの楽しい思い出を作ると共に、普段交流することの少ない異なった世代間の人たちと交流を深め、豊かな人間関係を作ることとを目的として開催する。

実施主体 新潟市鳥屋野地区公民館

参加対象 鳥屋野地域の子ども

参加者数 80人（子ども72人 保護者8人）

回数 1回 日数 1日 時間 2時間

場所 新潟市鳥屋野地区公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	7月29日	みんなの夏祭り in とやの	地域のスタッフ12人 地域ボランティア13人
1	内容・方法	○昔の遊び・射的・魚釣り・切り紙・折り紙・すいか割り・俳句・ストラックアウト・ダーツ・落書きコーナー・マジックショー ○事前にスタッフで企画会議を8回実施しコーナーごとの準備をした。 ○9種目中4種目をスポーツのコーナーにした。 ○各コーナーをスタンプラリーで廻り、工作・切り絵コーナーなどの手づくり作品の持ち帰りで景品を多くし、最後にお土産のプレゼントをした。 ○参加費100円	

- 成果
- ① カウントダウンで入場し、祭りを盛り上げた。またスタッフの大人が楽しみながら子どもと係わることで、子どもは遊びに集中し大人も楽しんでいた。
 - ② 8回の企画会議と準備でスタッフの交流が図られ、当日もお互いに協力し合えた。
 - ③ アンケートから
 - ・ 毎年参加している子どももいて楽しみにしている。
 - ・ スポーツ的な遊びや工作・切り絵・俳句などの手作りコーナー等、色々な遊びを楽しむことができた。
 - ・ 親も参加して昔の遊びや射的などを楽しんだ。家でもお手玉や綾取りをやりたい。
 - ・ スタッフの係わり方で、俳句も子どもたちの素晴らしい感性を引き出せることに驚き、共により勉強となり一緒に楽しむことができた。
 - ・ 子どもは遊んでくれるスタッフがいると、一つの遊びに集中する。綾取りやお手玉など上手な子が来てスタッフや他の子も交流ができた。
 - ・ 参加者は手作り作品やゲームの景品など、お土産をもらい大満足していた。
 - ・ 高齢者のマジックショーも子どもたちは楽しんで交流していた。

- 課題
- ① スタッフの確保（青年から高齢者まで募集、少ないと準備や目的の交流が充分にできない。）
 - ② ゲームの内容や募集方法の工夫
 - ③ 祭りが楽しめる雰囲気作りと会場のレイアウトなど

問合せ先 新潟市鳥屋野地区公民館（担当：井川庸） TEL：025-285-2371